

会議録様式

附属機関等の の 名 称	杉戸町子どもにやさしい街づくり推進会議
会 議 名	令和7年度第1回杉戸町子どもにやさしい街づくり推進会議
開 催 日 時	令和7年7月30日(水) 午前10:00 ~ 午前11:00
開 催 場 所	杉戸町役場 第二庁舎2階第1・2会議室
議 題	(1) 第二期杉戸町子ども・子育て支援事業計画 令和6年度実施状況について (2) 杉戸町こども計画 令和7年度実施計画について
公開・非公開の別	<u>公開</u> ・ 一部公開 ・ 非公開 (公開の場合 傍聴者 3人) (非公開の場合理由)
出席委員氏名	螺良委員、大越委員、鈴木委員、野田委員、齋藤委員、 世佐木委員、高橋委員、富澤委員、長岡委員、神山委員、 八木原委員、大塚委員、渡邊委員、中原委員、村木委員、 富塚委員、宮田委員 (欠席委員) 古澤委員、藤倉委員、岡崎委員
審議の概要	<p>(1) 第2期杉戸町子ども・子育て支援事業計画 令和6年度実施状況について (宮田委員) 達成度 B 評価となった放課後子供教室について、1校のみ開催となった理由は。 (事務局) 杉戸第三小学校、泉小学校でも開催を予定していたが、人員確保が困難であり杉戸第二小学校1校のみの開催となった。令和7年度は西地区での開催に向け準備している。 (宮田委員) ボランティアを募る組織のようなものはあるか。 (事務局) ボランティア関係では、社会福祉協議会等があるが、放課後子供教室に関してはPTAが主体となって活動していただいている。</p> <p>(2) 杉戸町こども計画 令和7年度実施計画について (富塚委員) 目標 44、家庭教育に関する学習機会についてと目標 52 の信頼を基盤とした生きる力を育む学校づくりについて、どのように保護者に発信していくか。</p>

(事務局)

目標 44 は社会教育課所管のため発信詳細については、担当課からとなる。

(渡邊委員)

学校に関しては、特色のある学校づくりを各学校に委託している。

学力向上プロジェクトについては、杉戸町のこども全員を伸ばしたいという思いから、他の自治体のようにモデル校のみの実施ではなく、全ての教員が研究授業に参観し協議して授業改革を進めている。

(冨塚委員)

こども家庭センターの相談内容について

(事務局)

令和 6 年度の実績で、相談件数は、実施人数 474 件であり増加傾向にある。この令和 6 年度の実績 474 件のうち、虐待相談件数が 151 件であり多い順にネグレクト、心理的虐待、身体的虐待となっている。

令和 5 年度までは心理的虐待が多数を占めていたが、令和 6 年度の傾向では、多子世帯のネグレクトの相談が多い。

(冨澤委員)

こども計画の青年期の定義について。概ね 30 歳、施策によっては 30～39 歳も含むことについて何か決まり等はあるか、第二期の計画から削除したものはあるか。内容の見直しは。

(事務局)

計画は国からの案・大綱等を基に作成している。第二期から削除した事業というのは無いが、子育てコンシェルジュのように状況に合わせて名称変更したものはある。5 年後に計画の見直しがあるので、考えていきたい。

(世佐木委員)

ヤングケアラーについて、5 年かけて調査をしていくのか、どのようなことを行っていくのか。

(事務局)

こども計画策定前のニーズ調査により、こどもの間でヤングケアラーについての認識が低かったため、啓発活動が重要である。デリケートな問題を含んでいるため、関係機関と連携を密にして実態把握に努めていきたいと考えている。